

あかしんぶん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (134) 岡田清治



■プロフィール

著者：岡田清治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リオンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】ウクライナの人が美しい風景を愛する日はいつになるだろうか(著者撮影)

ドラマは続く

「トルコの仲介でロシアとウクライナは面談で話し合いをしたと伝えられている。先のメールにもあったように、外交つまりは話し合いしか解決の道はないことだけは確かだ」

「ロシアは話し合い中でも攻撃を続けるんですね」「ウクライナも同じだと思っ。双方とも有利な決着をつけようとするからだろう」

「先の日本の戦争でも早く話し合いで終わらせたら、犠牲者も少なく済んだんでしょね」

「いまから思うと、なぜ原爆を落とされるまで降伏しなかったのか、悔しいね。一度、戦争を始める、勝つまでは止めたくないのが人間の業なんだろうね」

「一番の被害者は国民、市民ですね」

「悲しいことではあるが…」

「そろそろ小説の続きを読むよ」

「はい」

西村は京都経済界の重鎮でもあった。昭和四十六年に京都商工会議所副会頭に就任している。京都の経済界は戦後ずっと、近代産業と伝統産業の対立葛藤という図式を描いてきた。近代産業とは戦後、急速に膨張した立石電機(現オムロン)日本新薬、ワコール、宝酒造、京セラ、村田機械、堀場製作所などの大手企業グループ集団である。一方、伝統産業というのは、西陣、室町の織物製造・販売業者と、観光関連を中心とする中小企業集団である。西陣は機屋(先染め織物)の生産集団で西陣織工業組合を結成、堀川通り今出川の角に建つ西陣織会館は業界の威容を誇っている。滋賀辰雄は理事長として西陣に長く君臨した。その後、川島織物会長の川島春雄に譲っている。

一方、室町筋に集まる織物の問屋集団が京都織物卸商業組合で、そのリーダーが西村である。とにかく京都で繊維産業が強いのは第一にその数のすばかさであった。京都市内の事業所数の54.6%(昭和五十三年)。従業員数の34.7%を繊維産業が占めている。女性の着物離れが進み、年々、繊維産業は力の衰えをみせているが、今も数の上では断トツである。

日本新薬社長の森下弘が昭和四十五年二月、京都財界の総本山である京都商工会議所の会頭に就任したが、実に戦後二十九年を経て近代産業グループの指導者が経済界トップの座に就いたという事では画期的な出来事であった。しかし、伝統産業をないがしろにすることはできない。副会頭に西村大治郎が選任されたのである。その後、森下は十三年間の長きにわたり会頭に就き続けた。その間、近代産業グループ内での確執も見られたが、五十八年四月、ワコールの塚本幸一にパツトンタッチしている。

片桐が最初に会ったところの西村は財界人として

も活躍していた。

「初めまして…。京都に来て間がないんですが大学の先輩のよしみということでご指導をお願いに参りました」

「こちらこそよろしく」

西村は紹介者も介さずに直接、訪ねてきた片桐だが、温かく迎え入れた。

「先輩は家訓について随分、研究されていると聞きましたか」

「最近、ジャーナリズムでも家訓について注目しているの、私なりの考えをまとめてみたのですよ」

「千吉さんが四世紀あまり続いているのは、家訓に秘訣があるのではないかと考えています」

「そんなに長くですか」

「そうです。結局それが何かというと、信用ですね。信用を何よりも大切にしたいと考えています」

「なるほど。家訓では信用を築くために、どういことを教えているんでしょうか」

「第一に正路の渡世、つまり正しい道を行って世渡りせよということなんです。ビジネスの世界ではフェアプレーをやれということでしょう。片桐さんも存知のように、敗戦直後、ヤミ商売で儲けた店や税金をごまかした店が長続きせず、左前になつていくところが多いです。法の網を潜り抜けることを強く戒めていますね」

「なるほど」

「第二に和合の経営ですね。私どもの家訓の第三条にこう書かれています。『商人は主従とも友達のこと候えば、家来をあわれみ、下よりは主人を大切に忠勤に励み、争いごと、これ無きよう心掛け申すべく候』というのです。

元来、主従関係は支配服従と思われがちですが、ここにもはつきり友達とありますように、家来も人間として尊重しなければならぬ。店内の和を保つために必要なことは上に立つものが下のものをあわれみ、下の上のものに忠義を尽くす信頼と互助の関係が絶対に必要だと説いています。今でいう労使協調ですよ」

「なるほど」

ちよつと一服したいと思つていたところ、るり子が和菓子とお茶を運んで部屋に入ってきた。

「いいますか」

「ダッドタイムングだよ」

「どうですか」

「このまんじゅうまいね」

「あなたは味覚を大事にしていますね」

「味覚と言えは、友人からおもしろいメールが届いたが、読んでみるかい」

「せひ」

真三はプリントしておいたA4のペーパーをるりに手渡した。

るり子はさっそく黙読した。

味覚障害(食物を愛するよりも誠実な愛はない)ね

バーナード・ショー)

味覚がなくなることなど想像できない。ところが、ある日突然、身内に味覚障害者が出た。すぐ想像したのは「コロナ禍の時代、感染後遺症のそれかなと一瞬、思ったが、ワクチン接種も済ましており、感染した自覚がない。

すぐに近くの病院で診察してもらおうと、「亜鉛不足かもしれないので、血液検査してみよう」と、医師が話した。一週間後、結果を聞きに行くと、「やはり予想通りでした。亜鉛のサプリメントを薬局で買って様子を見てください」と対応を指示された。

味覚がなくなると、食欲が大きく減退する。日頃の三割減から半分になり、食べることが苦痛になる。それでも無理して詰め込まなければ、体力がもたない。

薬局で大塚製薬が輸入している栄養機能食品(亜鉛)を勧められ、「娘も飲んでます」と心配顔を打ち消してくれた。

この亜鉛不足による味覚障害は高齢化にもともない増えているが、若い人でも発症すると厚労省のHPにある。カキ、牛肉、ゴマ、アーモンド等に含まれているという。いまだにはつきりとした原因は分からず、ストレスや感冒など複雑に絡み合っているようだ。治療薬もないので、ひたすら亜鉛を補給するしかなく、一ヶ月ほどすると、徐々に味覚が戻り、再度、病院で血液検査を受け確認した。結果は正常値に戻っていた。

これからも奇病に悩まされることは起こるだろうが、それが高齢化ということだと自覚することが肝要であると悟ることだ。

「なるほどですね」

「亜鉛不足なんて聞いたことがなかったので、驚いたよ」

「あまり聞きませぬね」

「親はそうしたことにはなかつたぞうだ」

「私の両親もそうしたことにはなかつたと思ひます」

「最近の現象かも。ストレス社会だからかだろう…」

「それにしてもウクライナからの報道を見ていると、病気の治療も大変ですね」

「胸が痛むよ。ソ連邦が崩壊して、多くの国が独立したが、それぞれの国には人種が混在しているのだから。だからロシア人がウクライナをはじめ周辺国に住んでいるのだからね。他国から見ると、ウクライナ問題は複雑で理解できないよ」

「日本は島国で90数%が日本人といいますが、ウクライナをはじめ周辺国の事情が理解できませんね」

「だからと言って、力づくで領土を奪うことは絶対にあってはならないことだよ」

「早く戦争が終結することを祈るしかないですね」

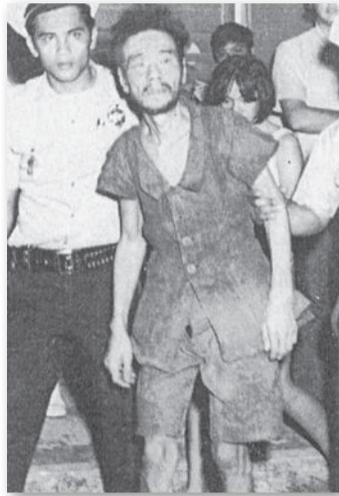
私の出会った作品 (72) 杉本武之

◎横井庄一

今から丁度50年前の昭和47年(1972)1月24日、グアム島で長い間隠れていた日本人が二人の現地人によつて発見されました。元日本兵・横井庄一。57歳。グアム島の戦地に送られた彼は、捕虜になるのを恥として、28年間、ジャングルの中に潜伏して、いつの日にか日本人によつて救助されるのを待ち続けていたのです。

◎『明日への道』

横井庄一は、大正4年(1915)3月31日、愛知県海部郡佐織村で生まれました。



『横井庄一』

父と母との間にどういふ事情があつたのか分かりませんが、母は生まれて3カ月にしかならない乳飲み児の私を置いて、実家に帰ってしまいました。洋服屋の父は、私のことなど構わないため、祖母(父の母)が、近所に貰ひ乳をして歩いたあげく、たまりかねて母の里へ母の留守をねらつて赤ん坊の私を置いて行

私12歳の時に、母が再婚しました。母の再婚先には子供がなかつたので、私も一緒に連れて行きました。昭和5年(1930)3月、海部郡富田村立富田高等学校を卒業。その後1

に亡くなりました。ではあつたが、草葉の蔭で私を助けてくれると思つたと決心を述べ、『名古屋にいては両親への甘えが出て、せつかくの志の邪魔になつてはいけません。できることなら他所の土地へ出て

7月10日頃からアメリカの艦隊が姿を現し始め、7月18日から艦砲射撃が熾烈になり、島全体が沈没してしま

横井庄一もジャングルの中に逃げ込んだ一人だったが、行動を共にしていた仲間が

杉本武之プロフィール 1939年 碧南市に生まれる。



その2年後、フィリピンのルバン島で元陸軍軍人・小野田寛郎が発見された。

この指とまれ (315) 氏原朝信



昭和55年度常滑西小学校二年二組「どろんこ」 「かさこ地ぞう」(岩崎京子作)の授業(3) 本好きになつたよ!

2月4日(水) M・桂子③ ぶたいげきで声がぜんぜん聞こえませんでした。

学習発表会で「かさこ地ぞう」を!

1月22日(木) T・重夫② げきをしました。自分のせりふみんなとおぼえました。

2月3日(火) T・重夫② 3時間目、おく体で本ばんのようになつたいげきをしました。ぼくは、あしたはほんばんなのでどきどきしました。

2月4日(水) M・桂子③ ぶたいげきで声がぜんぜん聞こえませんでした。

常滑市民文化会館 ホール

展示室 あなたのギャラリー

十八日(月、祝) 午前九時〜午後五時

常滑市市民文化会館

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! スタミナ満点! ニラうどん

マルチビタミンともいわれる栄養豊富なニラ。食欲がわかない時など我が家ではするする〜と、うどんと共にいただきます!

【4人分】

材料

- ① 冷凍うどん.....4玉
- ② ニラ.....お好みの量
- ③ にんにくペースト.....1cm
- ④ 胡麻油.....大さじ3
- ⑤ 醤油.....大さじ2
- ⑥ 酢.....大さじ½
- ⑦ ラー油.....少々
- ⑧ ロースト済みナッツ.....少々

作り方

- ①を各メーカーの表示どおりにレンジでチンし、ゆでうどんにする。
- ②のかたい茎を切り落とし、1センチに刻む。
- ③を混ぜ合わせる。
- ①をどんぶりに盛り②をトッピングし、食べる直前に③をかけよくかき混ぜて食べる。お好みで⑧を添える。

★新鮮な生卵(黄身のみ)とあえても美味しいですよ!

少人数での家族葬専用ホール

大阪屋リビング 常滑北

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

TEL0569-35-4949

●わーくわーい知多協力店

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

わが家のニューフェイス



豊島凛乃(3才) 半田市

愛とMy Family



杉浦なつ(5才) 綾紀(2才) ふゆ(0才6ヶ月) 暢(7才) 武豊町

写真・文	つてほしいと願っています。	戦しいつも笑顔で優しい子に育	沢山のひと関あつて色々な事に挑	成長を感じていきます。これから日	したり笑わせてくれたりと、日々	色々な言葉をお友達もできたり、	ていませす。お友達もできたり、	今は少し慣れて、楽しんでその通	今少し慣れて、楽しんでその通	泣いていた。最初は嫌いと	の年少さんに	この春から、	僕の名前は、
豊島香代子													



写真・文	おいしいご飯を食べたいな♡	言うよ。これからみんな仲良く	ヤムポインだっ母ちゃん	き。まああるいぽおなか	ます。僕はご飯を食べるの大好	ぎやかすぎるおうちで過して	す。4人きょうだい毎日	ん。妹は7ふゆちゃんといま	あちゃんはお姉	は。はるくんち	きです。お兄	僕の名前は、
杉浦征子												





アトナシ
Kei

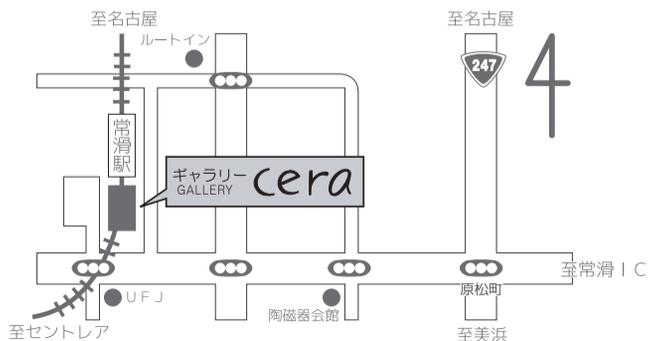
中根由美子
中根 啓
作品展



木と

着と

2022.6/24金～7/4月
9:00～17:30



ギャラリー GALLERY **cera**

〒0479-0838 常滑市鯉江本町5-168-2 (名鉄常滑駅高架下) 常滑市観光プラザ内
TEL: 0569-34-8888

健康管理は新聞配達で!

新聞配達員

大募集

体力を
つけたい・
運動したい

自分の
ペースで
仕事が
したい

こんな方におすすめ!



規則正しい
生活がしたい

短時間で
しっかり
働いて
稼ぎたい

朝刊配達員

月給 (配達部数による)
30,000~50,000円

勤務時間 AM2:30~AM6:00内で
ご希望の1.5時間程度

勤務日数 週2日~OK



詳細は担当 赤井まで
気軽にお問合せください

中日新聞
あかい新聞店

武豊 0569 (72) 0356
常滑 0569 (35) 2861